

# 若いなかま

若いなかま No.214

2022 (令和4)年 11月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号  
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ: <https://fayd.jp/>



## 目次

表紙	1	第22回 福岡県青少年囲碁大会	6
異年齢交流で育て！青少年育成キャンプ	2・3	家庭の日・オアシス運動	7
第44回少年の主張 福岡県大会	4・5	「青少年育成 考」、その他	8

### (公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

# 異年齢交流で育て！ 青少年育成キャンプ報告

と き：令和4年8月3日(水)～6(土)

と ころ：国立諫早青少年自然の家

令和4年度の「異年齢交流で育て！青少年育成キャンプ(略称：育成キャンプ)」は、2年ぶりに(令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の「緊急事態宣言」により中止)実施した。宿泊を伴う「キャンプ」なので、「ウイルスを持ち込まない」との方針のもと、充分な対策を行いながらの取り組みとなったが、途中で感染者が出現した為、1日早めての帰福となった。今号では、コロナ禍で取り組んだ「育成キャンプ」の活動を紹介する。

▼年度当初の健全育成部会で、「育成キャンプ」実施にかかわる、基本的対応を確認した。

☆確認事項(Ｒ2年度第3回部会)  
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る「中止判断」の基準は以下の通りとする。

①国や県、子どもゆめ基金部が実施不可能な指導・要請を行った時。

例)緊急事態宣言等の宣言等

②実施受け入れ先の「キャンプ場等」が受け入れられない時。

③健全育成部会で協議し上記の①②を回避できないと判断した時。④

その他、上記に準じた状況が生じていると健全育成部会が判断した時。

今回は、県や国の行動規制が行われず、十分な対策を行った上、実

施することが確認された。さらに、宿泊を伴うキャンプなので、取り組みの重点を「新型コロナウイルスを持ち込まない」こととし準備を進めた。具体的には、①出発前10日間の健康チェック表提出

②出発直前の抗原検査・陰性結果提出③出発前に感染した場合の陰性証明④家庭内感染が生じないように家族等の協力と報告、また、バス移動時のトイレ休憩など他団体との接触回避⑤キャンプ地での就寝、食事、入浴、活動時でも他団体との接触回避⑥実施中に感染者が出現した場合は、即中止し、帰福する。等に取り組んだ。

▼一日目(8月3日)いよいよ、2年ぶりの「育成キャンプ」がスタート。参加者は、小学生49名、高校生11名、大学生5名、青年サポーター1名、部会委員5名、看護師さん2名、事務局1名の計74名であった。スタッフは7時30分に集合して、受け付けの手順を確認し、検温・手指消毒、10日間の健康チェック表の提出確認、今朝の抗原検査陰性確認後、名札、帽子等を渡しての受付を行った。3年前なら考えられない受付である。高校生ボランティア達は、打ち合わせた通り慣れた手つきで、小中学生が不安にならないように温かく迎えた。

さて、県庁前東公園の野外で出発式を済ませ、いよいよバス2台で国立諫早青少年自然の家まで移動した。自然の家では、就寝や入浴は、他の団体と接触しない別館を男女の2棟を利用することができた。入所式後、早速、



班長と副班長の任命式、班旗の作成と活動を進めた。班旗は5日間、班行動を行う上での目印になり、最終日には班旗コンテストもある。各班は工夫を凝らした班旗を作った。夕食は、コロナ対策で薪を使った炊飯でなく、ガスコンロを使って調理した。定番とはいえず、野外で食べるカレーライスはとても美味しかった。入浴後、天体観測のプログラムがあった。標高約500Mの自然の家は白木峰高原にあり、沢山の夏の星座を見ることができた。観察中に人工衛星も見ることができ、さらに流れ星が一瞬見られたときは、暗闇の中で大きな歓声が上がっていた。夜風は涼しく満点の星空を見ることが出来、参加者大満足であった。

▼二日目(8月4日)「ネット・ゲーム依存にならない学習」と沢登りチャレンジを行った。4泊5日の野外活動中に、スマホ・携帯電話が使えない中で「ネット・ゲーム依存にならない学習」を行う事は、「育成キャンプ」の重要な柱のプログラムでもある。まず、自分のスマホ依存度をして頂いた。また、依存にならないように注意する学習もあり、参加者達はSNS等を生活に役に立つように上手に利用することを学んだ。

難関「五家原岳登山」のプログラムである。熱中症対策で予定よりも1時間早く登山を開始して、途中の展望所までの往復に変更した。登り始めは杉やヒノキの根が露出した急面



▼三回目(8月5日)「育成キャンプ」一番の  
約30分かけて移動した。子ども達は班別に自然の山中を流れる冷たく、綺麗な水を全身に浴びながら、歓喜をあげて進んでいった。途中には、2Mを超える岩場や胸までの深さがある場所等もあったが、子ども達は、「大丈夫?」「気を付けてね!」等と声を掛け合い、年長者が年少者等を支援する声や姿が見られた。約一時間後、約20Mの長さのトンネルを抜けるとゴール。「やったー!」参加者はどの子ども達も「やり終えた、達成感一杯の笑顔」であった。



午後からは、沢登りのプログラムである。全員がオリエンテーションを受けた後、ヘルメット、ライフジャケットを着け別館から沢登りのスタート地点まで

を必死に上ったが、途中からは少し平たんになり、子ども達はしりとりクイズや歌を合唱しながら、励ましあって展望所まで登ることが出来た。展望所では、橋湾、大村湾が見渡せ絶景であった。「苦しさを我慢して、登ってよかった!」と心から思う体験であった。

▼四回目(8月6日)昨日の夜に、発熱した参加者が、新型コロナウイルス検査で陽性反応がでた。事前に確認していたように「育成キャンプ」は即、中止して帰福することになった。スタッフは早朝から全ての保護者に連絡を行うとともに、消毒、隔離、帰福の準備と素早く対応した。特に登録ボランティア高校生、大学生達は、一つ一つ指示されることなく、「感染拡大を防いで、安全に帰福する」事を理解し、活動する姿は、目を見張るものがあった。正に緊急事態でも素早く的確に行動する彼らの存在は、重要になっている。午前中の予定のプログラムを荷物整理、清掃、作文作成に変更し、昼食後、13時には退所して福岡へ向かった。本来なら、途中で買い物やお土産等を購入できるが、それも行わず、15時には吉塚合同庁舎へ到着した。全ての保護者が急な日程変更にも関わらず出迎えに来て頂

き、心から感謝申し上げる。

▼今回の「育成キャンプ」は2年ぶりの実施で、事前の準備や、自然の家での活動にできる限りの対応を行ったつもりであったが、新型コロナウイルス感染で1日早く終了することになった。しかし、その後の感染者が増えなかったこと、感染した者が早期に回復し、現在は元気に日常生活を送っている報告に、まず、スタッフ一同安堵している。

▼成果としては、2年続けての中止は避けられたこと、主要なプログラムを出来るだけ前半に設定していたことで目的は一定達成できたこと、登録ボランティア高校生・大学生達が想像以上に育っていたことです。また、子ども達からは、「学校や地域等では、行事が無かったり、縮小したけど、キャンプに参加して、思いっきり活動出来て、2年ぶりに楽しかった。最高でした」「コロナの時に他の学校の人と友達になれたのが嬉しかったです」「中学最後の年に参加できて良かったです。来年は、高校生スタッフとして参加したいです」等の感想が寄せられた。今後はこの体験を日常生活に生かし、経験を積み上げて、自分の「生きる力」を確かなものにして行ってほしいと強く願っている。参加者の皆さん、保護者の方々、スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

ふくおかフィナンシャルグループは、まちや人が輝く場面をともに創り、寄り添うことで、地域とともに、お客さまとともに成長していく存在となることを目指しています。

いちばん近くで いちばん頼れる いちばん先を行く

それが、私たちからお客さまへの約束です。

福岡銀行



# 第44回 少年の主張福岡県大会

とき・令和4年9月4日(日)  
ところ・筑紫野市文化会館

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定の苅田町中央公民館での開催が急遽中止となり、結局、審査員各自のビデオ審査へ変更となった主張大会。今年は369件の応募があり、本日の大会参加者には10日間の「体調管理表」の記入・提出を求める対策も施しての開催となった。

## 開会・主張発表

司会の筑紫野市立筑紫野南中学校放送部員4名が登壇。今回は(公社)福岡県青少年育成県民会議の主催のもと、筑紫野市・筑紫野市教育委員会・筑紫野市青少年育成市民会議の共催で実施された。まず久原寛市民会議会長が開会を宣言。次に中原憲幸県民会議副会長が主催者挨拶(会長挨拶代読)。「新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、何かと制約のある学校生活の中で、例年になく多くの作品を応募していた」と、大いに期待を寄せていた。

その後、服部誠太郎福岡県知事来賓祝辞(福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局城石聖子局長代読)、藤田陽三筑紫野市長来賓祝辞と続いた。知事はこの大会を「学校生活・日常生活で感じた気持ちを自分の言葉で伝

える貴重な場」であると評価し、市長は昭和63年の筑紫野市開催に触れつつ「中学生らしい感性を伝え、青春期の思い出を作ってほしい」と呼びかけた。

審査委員長の審査の説明、舞台上に整列した発表者一人ひとりの紹介と進み、いよいよ主張の発表へ。

予め抽選で決定した順番に従い、最終審査に残った14名の発表が進む。改めて会場を見渡すと、座席を空けた着席を指示する会場内のテープや、発表が終わる毎に使ったマイクを交換する様子といった、新型コロナウイルス感染期ならではの光景が目に入る。

## アトラクション・審査結果

全員の発表が終わるとアトラクションへ。今年は筑紫野市立筑山中学校の皆さんによる平和集会・平和劇「寄せ鍋」のビデオ放映。感染拡大で本年度の劇は上演中止を強いられ、昨年度の劇が放映されたが、出演した中学生たちは与えられた役になりきり、怒り・悲しみ・喜びなどの感情を内に秘めて巧みに役柄を演じ切っていた。

そしていよいよ審査結果の発表と表彰。舞台中央のマイクを境に、上手には14名の発表者が、下手には県民会議

副会長以下関係者が着席。順に優秀賞、審査委員会特別賞、優秀賞第一席、筑紫野市長賞、福岡県教育委員会賞の受賞者が発表されて表彰。最後に福岡県知事賞の受賞者に宮城ひかりさん(飯塚市立飯塚鎮西中学校)の名前が呼ばれ、一段と大きな拍手が沸いた。

その後、伊藤一義委員長が審査委員長講評を、次期開催地挨拶をNPO法人飯塚市青少年健全育成連絡協議会下田稔副理事長が行い、最後は久原寛市民会議会長の閉会の言葉で大会を閉じた。

## 審査講評

審査委員長 伊藤一義



皆さんお疲れさまでした。昨年は動画審査でしたが、今年は2年ぶりに生で皆さんの主張を聞くことができました。本当に感動して、素晴らしい時間をいただきました。

最初に会場に入って、皆さんの様子を見てみると中学生だなという感じでしたが、ステージに立って主張を始めると、たくましくて立派で、本当にすごいなと思いました。

審査の内容について、審査委員会で審査委員の皆さんに色んなお話をいただいたので、一部を紹介します。

○自分の想いを伝えるため、ステージ上で発表する姿は堂々として素晴らしかった。

○一次審査、二次審査は作文の審査であったが、生の声を聴くと、印象が大きく変わって驚いた。

○発表の内容では事実を述べることにとどまって、その事実から自分の考えをもっと述べてほしいものもあった等々。

以上の各審査委員の意見が点数の差となって表れたのかなと思います。でも、審査結果を見ると評価が分かれていて、本当に僅差だったと思います。

最後に、発表者の皆さん、これからも学校生活は続きます。次のステップに移っても社会のリーダーとなって、活躍してほしいと思います。私たちも、皆さんを見守っていきたくて考えております。

## 優秀賞受賞者一覧

(発表順)

中学校名	学年	氏名	題名
飯塚市立穂波中学校	3	秀村 史奈	「あいさつは魔法」
飯塚市立二瀬中学校	3	矢野 蒼大	出会い
飯塚市立幸袋中学校	3	有吉 萌乃	ギフト
田川市立猪位金学園	3	二橋 真音衣	努力のキセキ
久留米市立櫛原中学校	3	藤井 眞子	見えなかった世界を見る世界へ
苅田町立新津中学校	3	齊藤 みのり	「できること」「できないこと」
久留米市立屏水中学校	3	平山 結斗	「なんで『別れ』って辛い?」
嘉徳高等学校附属中学校	2	高井 詩歩	人工知能とどう向き合うか
筑紫野市立筑山中学校	3	砥綿 一颯	沖縄戦から学ぶ

福岡県知事賞

世界に光を届けたい  
〜日系四世ルーツをたどって〜



飯塚市立  
飯塚鎮西中学校 3年  
宮城ひかり

「ひかり！ Levantate rapido! ハヤク！  
ハヤク！」日本語交じりのスペイン語で私の一日が始まります。私の両親はペルーの日系三世です。「日系人」とは、日本から外国に移住し、その国の市民権を得ている人と、その子孫のことを言います。父も母も、ペルーで育ち、ペルーの学校に通ったため、スペイン語を話します。働くために日本に来て三十年になります。が、いまだに日本語はとても難しそうです。今も勉強を続けています。一方、私は日本で生まれ育ち、日本語に不自由しません。困っていたことがありません。それは、自分自身、どこの国の人間なのかアイデンティティーがよくわからなかったことです。なぜなら私の見た目はいつも日本人ですが国籍はペルーで、両親

も私も日系人……。なんとなく「日本人のふり」をしているように感じていたからです。私は一体何者なんだろうという疑問が頭の片隅にいつもありました。そんな時、母と一緒にペルーへ行くことになりました。私にとつて初めてのペルー。成田空港からメキシコへ、メキシコからペルーへと、飛行機の旅も到着まで二日間かかりました。空港を出ると、ガソリンのような臭いとごった返す人と車、そして暑苦しさには包まれました。空港から祖父の家へと向かっている時、信じられない光景を目の当たりにして、言葉を失いました。土ぼこりの舞う道路を幼い子どもたちが花やお菓子を抱え車に乗っている人たちに売り歩いているのです。ペルーは経済的に発展しているとは言えず、家族や生活のために働く子どもたちがいることも問題となっています。

ペルーに滞在中、母の提案で、いところと一緒に現地の学校に通いました。そこで出会った人たちは、人懐っこく、親切で、笑顔が素敵でした。一緒に遊んでくれたり、スペイン語が苦手な私を身振り手振りで助けてくれたりしました。私を「外国人」とか「日本人」とかではなく、「友達」として受け入れてくれました。ペルーという国を、いい国だと心から思えた瞬間でした。

ペルーへの里帰りがきっかけで、両親から私につながるルーツを教えてもらいました。当時沖縄に住んでいた曾祖父・曾祖母は、ペルーで豊かな生活ができることを信じて、戦争から逃れるように十代で日本を離れました。しかし、現実には、農業を始めるために購入した土地が奪われたり、日系人であることで差別されたりと、ペルーでの生活は苦勞の連続だったようです。母も、日本での生活について話してくれました。見た目は日本人なのに日本語が上手に話せず、差別と感じる辛い体験もたくさんあったそうです。そんなときも泣きながら日本語を勉強したという初めて聞く話に胸が苦しくなりました。なぜなら、私は、日本語が苦手な両親のことを友達や周りの人に知られるのを恥ずかしいと思っていたことがあったからです。でも今では、一生懸命に日本語を覚えようと頑張る姿や、苦勞を見せず明るく前向きに生きる両親の姿は、私の誇りです。

私はペルーでの経験がきっかけとなり、貧困の中で一生懸命に生きている海外の子どもたちをボランティアとして支援する夢ができました。そのために、海外へ留学し、たくさんの方の学び、世界的視野や公平公正なものの見方を身に付けていきたいと考えています。

私の曾祖父、曾祖母が人生をかけた選択をし、苦勞しながらも誇りを持ち続けて生きてきました。私の「ヒカリ・カローリーナ・ミハシロ・チネン」という名前にはそのルーツと受け継がれた絆と愛が詰まっています。私は大好きな日本で、日系人として、優しく、たくましく、誇りを胸に世界中に「ひかり」を届ける人生を歩んでいきます。

誰かに笑顔を届けるために

福岡県教育委員会賞



飯塚市立  
飯塚鎮西中学校 3年  
和多葉奈

知ることから始める

筑紫野市長賞



久留米市立  
城南中学校 3年  
我部 葵

「できる」ことを探す

優秀賞第一席



照曜館中学校 3年  
清水 秀一

知ること、行動すること

審査委員会特別賞



久留米市立  
諏訪中学校 3年  
野本 花



# 第22回福岡県青少年囲碁大会

主催：(公社)福岡県青少年育成県民会議、福岡県、日本棋院九州本部

日時：令和4年8月28日(日)

場所：福岡県吉塚合同庁舎6・8階



今年、小学生7名、中学生7名、高校生8名が参加。対局時にも用いられるなど厳格なルールのもとで、有段者同士による熱い対局が展開された。試合後の表彰式では各部門の上位者には賞状とトロフィが贈呈された。なお、来年3月に中国江蘇省で開催予定であった「福岡県江蘇省囲碁交流大会」は、新型コロナウイルスの影響により、今年度は中止されることが伝えられた。

午後からは、日本棋院九州支部から派遣された桂篤プロ5段と子ども達との多面打ちが開催された。(第1局8名参加、第2局9名参加)。



## 県知事杯争奪戦(22名参加)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により過去2年連続で延期となっていた青少年囲碁大会が、延べ74名の参加のもと、吉塚合同庁舎を会場に開催された。開会式冒頭の挨拶で、渡邊晴一朗大会実行委員長より、安全・安心な大会とするため前日での抗原検査をお願いするなど、皆様のご理解とご協力により3年ぶりに本大会を開催できたことについて謝辞が述べられ、参加した子ども達を激励した。日本棋院九州本部より派遣された桂篤プロ5段の紹介等につき、吉田壽一審判長から「ルール説明」が行われた後、各会場に分かれて熱戦が繰りひろげられた。

## 異年齢交流対戦(35名参加)

上級(9級以上)、中級(10級から19級)、初級(20級から初心者)に分かれて、勝敗にこだわらなくても楽しい雰囲気、クラス別に対局が行われた。年齢差があるお兄さん・お姉さんとの対局や九州大学囲碁部員スタッフと子ども達の交流も行われた。また、一定の勝率基準を超える場合、希望する参加者には級位認定状も付与された。



最後に、吉田壽一審判長からは、全体を通じた講評の中で、「県知事杯争奪戦は全国レベルに匹敵する高いレベルの対局が繰り広げられていたこと。また、多くの囲碁が好きな異年齢の子どもたちが一緒に交流し楽しめる機会やプロ棋士から直接指導を受けること

## 全体講評

はなかなかない事であり、素晴らしい素晴らしであった。この評価をいただいた。



## ～県知事杯争奪戦対戦結果～

●小学生の部			●中学生の部			●高校生の部		
三位	準優勝	優勝	三位	準優勝	優勝	三位	準優勝	優勝
石田 宋壽	佐田 優真	樋口 舜連	小野口 真	山下 稜太	古里 里峯	田道 啓大	毛利 純大	横山 巧
市立香椎下原小学校6年	市立福岡南小学校4年	町立新宮小学校6年	市立百道中学校3年	私立英徳学園中学校3年	県立青徳館中学校2年	県立修猷館高校3年	私立九州産業高校2年	県立修猷館高校1年

社会の未来のために、私たちができることを。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | @ncbankofficial | @ncbank\_official | 西日本シティ銀行

# 家庭の日・オアシス運動

◆子どもの健やかな成長は家庭から◆  
 ー最優秀作品の紹介ー

「家庭の日」・「オアシス運動」が地域に広く普及するよう小・中・高校・特別支援学校生を対象にポスター及び作文を募集しました。今年度は昨年を上回る総数 1,539 点の応募があり、1 次審査、2 次審査を経て、作文・ポスター各部門について、最優秀賞 1 名、優秀賞 9 名、奨励賞（作文 22 名、ポスター 25 名）47 名が決定しました。今号では、入賞した作品のうち、最優秀作品を紹介します。なお、表彰式は、令和 5 年 1 月 22 日（日）13:30 より、アクロス福岡、展示は令和 5 年 1 月 16 日（月）～22 日（日）にアクロス福岡メッセージホワイエ、2 月初旬に県庁ロビーで予定しています。

## ポスターの部 最優秀賞



福津市立津屋崎小学校  
 いさもとひらり  
 4 年 諫元 妃 莉

## 作文の部 最優秀賞

### 「父との練習」

福津市立福岡中学校

三年 木原 日 和  
きはら ひろ

「もつとひびきを曲けて。」  
 「もつと丁寧に打てよ。」  
 何度も父に投げかけられた言葉だ。  
 私は、ソフトテニス部に所属している。夏の大会を終え、引退した今思い出すのは、父との教え切れぬほどの練習の日々だ。  
 父は、テニスの経験はほぼ無い。会社の人との付き合いで、何度も経験したことがあるらしい。でも、私がテニスに対して持つ熱量と同じくらい、父もテニスに対して熱心だった。  
 テニス部に入部した一年生の時、ラケットの握り方から素振りの練習など、私が学校で教わった基礎練習を家の庭で二人でやったことが、なんだかとても懐か

部活が休みの日は、練習したいという私によく付き合ってくれた。急に頼むこともあったのに、練習するためのコートを探し予約してくれた。  
 平日は仕事で忙しいので休日くらいはゆっくり過ごしたいと思ってもあったらう。  
 湿布を体に貼りながらも、毎週のように、しかも私が三年生になってからも、変わらず練習に付き合ってくれた父に本当に心から感謝をしている。  
 しかし、心の中ではちゃんと感謝しているのに、疲れがたまっている時や、自分が上手く打てずに落ち込んでいるときなど、つい父に対して強く当たってしまうことがあった。  
 私のことを思ってくれるアドバイスにも。「やったこともないのに、偉そうに言わんで。」と、とてもひどいことを言ったこともあった。時には言い合いになることもあった。  
 私はそんな時いつも、自己嫌悪に陥る。なんであんなにひどい言い方をしてしまったんだろう。父の優しさに甘えてしまっているのだ。そんな時、母が教えてくれたことがある。  
 「お父さんがあんなに熱心にひよをサポートするのは、ひよがいつも本気でテニスと向き合っていて、心底テニスが好きなんだっていうのがわかるからだって言ったよ。あんな一生懸命な姿を見てたら少しでも力になりたいやんって言うてたよ。」と。  
 父に対して申し訳なく、涙がでてきた。こんなことを何回か繰り返しながらも、私にとって父とのテニスの練習時間は、かけがえのないものになっていった。  
 手がかじかむくらい寒い冬も、夏の猛暑の中も、しっかりボールを追って頑張ることができたのは、父の励ましがあったから。  
 また、私と父との会話が増えることで、母や小学生の弟、一緒に住む祖母の家族みんなが自然と集まり、テニスのお話で盛り上がる時間も増えた。家族全員で私の好きなテニスについて話したり、試合の動画を見たりと、楽しさや悔しさなどの感情を共有できることがとても嬉しく、とてもありがたかった。

## 優秀賞

三年生最後の大会で、悔いを残さずに試合ができたのも、両親の声援と家族のサポートのおかげだ。いつも前向きな言葉で背中を押してくれて、側で見守ってくれていると思っている。  
 この先、中学を卒業し高校、大学と成長しても、私はきっとこの中学での部活生活の時間を忘れることはないだろう。父との濃いテニスの時間は私にとって大切な思い出となるだろう。  
 これからも家族みんなに感謝し、その思いを伝えながら、自分の目標に向かって頑張っていきたい。  
 大好きなテニスを通して、家族との大切な時間を深めることができた私はとても幸せだ。

### 【作文の部】

- 久留米市立西国分小学校 1 年 嘉松 心 春
- 芦屋町立山鹿小学校 2 年 金澤 蒼 大
- 福岡教育大学附属久留米小学校 3 年 福本 京 夏
- 福岡教育大学附属久留米小学校 4 年 内山田 理 織
- 柳川市立矢ヶ部小学校 5 年 大久保 絳 奈 乃
- 福岡教育大学附属久留米小学校 6 年 坂口 伶 太
- 遠賀町立遠賀南中学校 1 年 安高 葉 南
- 福岡県立嘉穂高等学校附属中学校 3 年 井野 口 ま ほ
- 岡垣町立岡垣中学校 3 年 増田 玲 奈

### 【ポスターの部】

- 苅田町立馬場小学校 1 年 古川 美 唯 菜
- 水巻町立伊左座小学校 2 年 松屋 日 々
- 芦屋町立芦屋小学校 3 年 岡田 陸
- 苅田町立馬場小学校 5 年 山本 亜 美
- 柳川市立垂見小学校 6 年 田中 也 美
- 遠賀町立遠賀中学校 1 年 堀田 みな 美
- 九州産業大学付属九州高等学校 1 年 松本 友 萌
- 九州産業大学付属九州高等学校 1 年 山口 も も
- 福岡県立八幡中央高等学校 1 年 金子 未 来

事務局だより

主な行事（R4年7月10日～11月15日）

7月	15日(金)	少年の主張大会第1次審査委員会
	19日(火)	青連協常任委員会（オンライン会議）
	22日(金)	第5回広報部会（発送作業）
	28日(金)	さわやかマラソン大会第2回事務局会議
	29日(金)	青少年囲碁大会第2回実行委員会
8月	1日(月)	「家庭の日」「オアシス運動」作品集集（9月9日）
	3日(水)	少年の主張大会第1次審査委員会
	4日(木)	少年の主張大会第2次審査委員会
	22日(火)	青連協常任委員会（オンライン会議）
	28日(日)	青少年囲碁大会会場準備作業
	31日(水)	さわやかマラソン大会第3回事務局会議
9月	3日(土)	少年の主張大会会場準備
	4日(日)	少年の主張大会
	7日(水)	第6回広報部会
	10日(土)	「育成キャンプ」検証会議
	13日(火)	青連協常任委員会（オンライン会議）
	22日(水)	第2回家庭部会
10月	3日(月)	「家庭の日」「オアシス運動」作文作品2次審査
	4日(火)	「家庭の日」「オアシス運動」ポスター作品2次審査
	8日(水)～10日(金)	青連協青年リーダー養成事業、東北震災被災地派遣研修
	11日(火)	青連協常任委員会（オンライン会議）
	28日(金)	さわやかマラソン大会第2回実行委員会
	28日(金)	第3回健全育成部会
11月	5日(土)～6日(日)	青連協、ジュニアリーダー養成事業・研修会

新正会員・賛助会員紹介（令和4年11月214号現在）

個人賛助会員

樺島希世子（福岡市）  
河合昭江（福岡市）

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。ボランティア活動時には「災害時ケアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

編集後記

3年ぶりに夏の3大行事を実施▼制限のある中での開催は多くの困難を伴い関係者・各関係機関の協力で実現▼青少年育成キャンプは途中で感染者が出たため一日早く切り上げ帰福▼三日目までの主な日程はほぼ終了し感染も広がることなく最小限に収めることができた▼スタッフや関係者の事前準備の賜物である▼囲碁大会は安心安全の大会と位置づけ前日までの抗原検査を義務づけ開催▼74人の参加があり無事終了▼しかし中国江蘇省囲碁交流大会はウイルス感染防止のため中止に▼少年の主張大会は去年のビデオ審査から会場での対面発表が実現できた▼昨年にも増して369件の応募がありコロナに負けな子どもたちの熱意と勢いを感じる事ができた▼来年こそは通常開催ができることを願っている

青少年育成県民会議広報部長 馬場京子

青少年育成“考”

『学んできたもの』



遠賀町青少年育成町民会議会長  
（公社）福岡県青少年育成県民会議理事  
瀬井公子

「大人が変われば子どもも変わる」「地域のおじさん、おばさん運動」これは、私の大好きな言葉です。私が子どもの頃は近所にこのおじさん、おばさんがいて夜遅くまで遊んでいたと「早よ帰らんね」「お母さん、お父さんが心配しよるよ」と声を掛けてくれました。

そんな私が、この言葉に出会い、青少年育成という活動に興味を持ったのは、お決まりの輪番制でやってくる自治会の役員になり、その先の町の家庭部会の一員として青少年育成に関わる町民会議の時でした。任期が一年で終わるこの町民会議という組織がおもしろいと思いつくう様になり何年か経った時、町民会議の組織を改正する事になり、唐突に副会長になって欲しいと頼まれました。今までは、その時々部長から言われた通りに動いただけで、ましてや、ただ三人娘の母という事だけで育成という場所に足を踏み入れた私でしたので、学識や何の資格も無い者に副会長などそんな大役が務まるはずがありません。そう言ってお断りしましたが、三人娘のお母さんなら母親の代表としての意見を言ってみようかと当時の会長に説得されお引き受けする事になりました。町民会議は、地区より2名推薦してもらった運営委員の1名を公民館

長になつてもらったり、青少年の主張大会では、遠賀高校の生徒さんにボランティアとして設営等に協力してもらったり、周りの人たちを巻き込む活動を行っています。

あれから10年、婦人会の方にイベントごと豚汁やカレーライスの炊き出しに協力してもらったり遠賀高校の生徒さんに司会を頼んだり、今年に限っては中学校の生徒さんに司会を頼んだりして人を巻き込む活動は、今もなお続いています。初めの10年は母として、その後の10年は、地域のおばさんとして、この10年は、祖母として今だに町民会議に携わっています。

この30年で学んだことは、子ども達の能力は無限大で観察力やアイデア力が豊かである事、こうでなければという固定観念が余りない事、私たち大人にはない発想力を持っている事など沢山あります。

子ども達のために何かをするつもりだったはずが子ども達の能力の柔軟性、多様性に驚きそのさまざまな力や自主性を信じて大勢の人々を巻き込むアイデア力を駆使しながら今日も私たち町民会議は、地域のおじさんおばさん運動を続けています。

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話（092-643-6001）をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

個人	1口	1,000円
法人又は団体	1口	15,000円
特別賛助会員	1口	50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行千代町支店（普通預金）3053033
- 福岡銀行県庁内支店（普通預金）526475
- 筑邦銀行福岡営業部（普通預金）1597091
- 福岡中央銀行本店（普通預金）1030569
- ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057